

## 会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成23年度第2回臨時会
開催日時	平成23年11月24日（木曜日）午後3時10分から5時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：小西委員、谷関委員、富川委員、吉田委員、服部委員、鈴木委員 事務局：奈良館長、西村副館長、吉野庶務係主査
傍聴者	0名
議題	第1 諸報告 (1) 第3回市議会報告 (2) 予約棚システム及び東伏見ふれあいプラザについて (3) 公共施設の適正配置等に関する基本計画について  第2 西東京市図書館における電子書籍のあり方について
会議資料の名称	1 公共施設の適正配置等に関する基本計画（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長： 時間になりましたので、図書館協議会第2回臨時会を始めさせていただきます。最初に諸報告を館長からしていただきたいと思います。</p> <p>館長： 3点の報告と補足の報告があります。 1 (1) 第3回市議会報告について、議会の一般質問で『公共施設の適性配置等に関する基本計画』に対し質問がありました。 主旨としては、「芝久保図書館と公民館の検討、及び一部転用ということであり、芝久保図書館・公民館の利用率が低いので他に有効利用ができないか、また、全館の書籍が多いが、それに対し書架が少ないので芝久保に転用してはどうか」というものでした。</p>	

質問に対して、「図書館は、6館1分室の全体のネットワークで考えており、サービス向上をしていくということで業務を行っている。

中央図書館を中核とし、レファレンス、地域・行政資料を強化することでやってきている。そのためには、資料の充実も必要であり、その中で、芝久保の開架スペースを縮小して、書庫にするということも、選択肢の一つであると考えている。」という内容で答弁しました。

次に、『予約棚システムについて』と併せて『雑誌のカバー広告掲載について』の質問がありました。

予約棚は効果が大きく、カウンターの混雑が緩和され、高齢者を中心に読書相談、レファレンスが効率よく余裕を持ってできるようになりました。と回答しました。

雑誌カバーの広告の内容ですが、一年間を通じて、新刊雑誌のカバーに業者の広告を掲載することを条件に、掲載されたカバーの雑誌を広告主が負担するという内容です。「現在、バナー広告も値下げをして3枠を確保するのが精一杯なので、今後の課題にさせていただきたい。」と回答しました。

館長：

次の(2)「予約棚システム及び東伏見ふれあいプラザについて」の報告を副館長がいたします。

副館長：

今年度の7月1日から中央図書館のみですが予約棚システム・自動返却機を設置しました。自動貸出機の稼働率ですが、4月から6月まではおよそ平均54パーセントくらいでしたが、7月から10月ではおよそ平均91パーセントになりました。効率のよくなった分は読書相談等の対応ができるようになりました。

委員：

ほとんどの人が予約して借りにきているのですね。

館長：

予約は4分の1から5分の1位ですけれども、カウンターでのやり取りは多かったですね。

副館長：

予約した本を受け取りに来られた人は、通常に図書館で借りる本と一緒に手続きするケースが多いのでカウンターを利用する割合が高くなってしまいます。

委員：

他市に比較して予約が多いのは何故なのでしょう。

館長：

貸出し数ですね。他市に比べて30冊までという数が多いので取りあえず30冊予約しようという方が多いです。反面キャンセルも大変多くなっています。

会長：

予約棚システム・自動返却機の導入によりカウンター業務が効率化されたことは評価されているのですか。

館長：

アンケート等とはっていないので職員の実感です。また、来年度以降、ひばりが丘・柳沢・保谷に予約棚の導入を予定しています。

委員：

これだけ効率化すると、人はいらぬのでは、ということにはならないのですか。

館長：

図書館職員数の割合で図書館司書率7割を維持しつつ、中央では貸し出し中心だった嘱託員のカウンター要員をなくし職員の補助とします。

副館長：

東伏見プラザの報告をいたします。

7月2日からサービスが開始しました。図書館のサービスポイントとは別に、図書サービスという位置づけで、インターネット及び図書館で予約したものを、1人3件のみふれあいプラザで受け取れるというシステムになっています。

会長：

(1)、(2)で質問はございませんか。質問なしということで(3)公共施設の適正配置等に関する基本計画についての報告をお願いします。

館長：

「公共施設の適正配置等に関する基本計画」についてですが、図書館として、特に中央図書館ですが、耐震対応という点が問題となっています。

主に、次の点について記載されています。

- ・現状と課題として
- ・既存施設の配置状況と課題
- ・最近の利用状況の推移と特徴
- ・システム等を活用した運営改善
- ・東伏見ふれあいプラザにおける図書館サービスの提供

見直しの方向性として

- ・中央図書館の耐震対応
- ・中央図書館の機能拡充
- ・ICタグシステム等を活用した運営改善の検討

委員：

これを受けて、図書館としてはどのようなアクションを行えばよいのですか。

館長：

図書館としては、事業の見直しのなかで、運営の効率化などを行っていきます。

委員：

中央図書館の耐震対応はどうなるのですか。

館長：

耐震対応が可能であれば、この場所で耐震化します。耐震対応が無理ならば建替え、または市民会館に組み込んだらどうかという考えがあります。

会長：

公共施設の適正配置等に関する基本計画とパブリックコメントの集計を次回の議題にします。第2「西東京市図書館における電子書籍のあり方について」はいかがでしょうか。

館長：

これについては、議会等で『どうするのか』というような質問が出たりしていますので、できれば協議していきたいと考えています。

委員：

電子書籍の問題は、様々な意味で複雑です。それぞれの立場で色々な考え方がありますので、やる、やらないに関わらず、市民にとっても重要な問題を協議会で検討していくことは非常に重要なことと考えています。

館長：

電子書籍をテーマに、定例会において、小西先生に教えていただきたいと思えます。

会長：

日程の確認を行いたいと思えます。

来年の1月が第3回定例会です。1月26日の3時からになります。次が3月ですが、館長の新年度予算審議があり未確定です。年度内、定例会4回で終了し、新年度に入って5月、7月、1月、3月が定例会になります。また、事業評価がありますので、臨時会を9月、11月に予定しています。諮問を受けるのは次回となります。

電子書籍については、1月に諮問を受けて、新年度から協議していきたいと思えます。